



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日東化工株式会社

コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 荒川 良平

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長

(氏名) 小平 英希

TEL 0467-74-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,510	5.8	△48	—	△51	—	△58	—
26年3月期第1四半期	2,372	0.7	8	3.6	6	36.0	1	△67.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△1.54	—
26年3月期第1四半期	0.03	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年3月期第1四半期	7,531	—	2,202	—	29.2	—	57.38	
26年3月期	7,654	—	2,259	—	29.5	—	58.87	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,202百万円 26年3月期 2,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	1.8	△20	—	△30	—	△40	—	△1.04
通期	10,900	△1.2	75	138.5	50	181.1	30	—	0.78

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	38,400,000 株	26年3月期	38,400,000 株
27年3月期1Q	17,964 株	26年3月期	17,349 株
27年3月期1Q	38,382,343 株	26年3月期1Q	38,383,187 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府による積極的な経済政策および金融緩和政策等により、景気の緩やかな回復傾向が見られるものの、消費税増税後の個人消費の落ち込みによる景気減速懸念も完全には払拭されず、依然として先行きの不透明な状況で推移しております。

このような環境下、昨年の第2四半期以降、自動車関連を中心にゴムコンパウンドの受注が好調に推移していることで、消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響があるものの、売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益面におきましては、受託製品のゴムコンパウンドが増収となりましたが、自社製品においては、消費税増税の反動減の影響等により受注量が減少したことで、設備稼働率が低下したこと、また相対的に利益率の低い製品の構成比が増加したこと等により大幅な減収となりました。

その結果、当期の業績は売上高2,510百万円（前年同期比5.8%増）、営業損失48百万円（前年同期は8百万円の営業利益）経常損失51百万円（前年同期は6百万円の経常利益）、四半期純損失58百万円（前年同期は1百万円の四半期純利益）となりました。

（セグメント別の状況）

（ゴム事業）

ゴム事業全体の売上高は、ゴムコンパウンドが増収となったことにより、前年同期を240百万円上回る1,703百万円（前年同期比16.5%増）となりました。

<ゴムコンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動減があるものの、昨年の第2四半期以降、自動車関係を中心に受注が好調に推移していることで前年同期を上回る売上高となりました。

<シート・マット>

ゴムシートでは、汎用品や自動車関係の受注が低調に推移したことにより、前年同期を下回る売上高となりました。ゴムマットにおいては、クッションマットが好調であったものの、粉末マットの売り上げが伸び悩み、前年同期を下回る結果となり、シート・マット全体としても前年同期を下回る売上高となりました。

<成形品>

クッションタイヤの受注が好調に推移したことにより、前年同期を上回る売上高となりました。

（樹脂事業）

樹脂事業全体の売上高は、主に高機能樹脂コンパウンドにおいて、受注が減少したことにより前年同期を125百万円下回る762百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

<高機能樹脂コンパウンド>

消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響等により自動車関係の受注が減少し、前年同期を下回る売上高となりました。

<リサイクルナイロン等>

樹脂洗浄剤の販売は堅調に推移したものの、リサイクルナイロン、ECXでの受注が低調だったことにより、前年同期を下回る売上高となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は7,531百万円となり、前期末に比べ122百万円減少しました。流動資産は、主に営業債権が減少したことにより、前期末に比べ113百万円減少しました。また、固定資産につきましては、関連会社であります㈱愛東の清算の終了にともない関係会社株式が減少したことにより、前期末に比べ8百万円減少しました。

負債は5,329百万円と、前期末に比べ65百万円減少しました。流動負債は主に営業買入債務が減少したことにより、前期末に比べ70百万円減少しました。固定負債は、役員退職慰労金の支払いによる減少はあったものの、借入を実施したことにより、概ね前期末並の残高となりました。

純資産は2,202百万円と、前期末に比べ57百万円減少しました。これは主に当第1四半期累計期間における四半期純損失によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年4月28日に発表いたしました業績予想の数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131	171
受取手形及び売掛金	2,853	2,719
商品及び製品	491	514
仕掛品	175	154
原材料及び貯蔵品	301	303
その他	107	83
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,060	3,946
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	724	711
機械及び装置(純額)	977	983
土地	1,575	1,575
建設仮勘定	35	51
その他(純額)	102	99
有形固定資産合計	3,415	3,421
無形固定資産		
その他	6	7
無形固定資産合計	6	7
投資その他の資産		
投資有価証券	52	55
関係会社株式	31	16
関係会社出資金	64	64
その他	27	25
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	171	156
固定資産合計	3,593	3,585
資産合計	7,654	7,531
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919	1,765
短期借入金	1,450	1,500
未払法人税等	6	3
賞与引当金	57	35
その他	1,009	1,067
流動負債合計	4,443	4,372
固定負債		
長期借入金	589	609
退職給付引当金	320	333
役員退職慰労引当金	40	11
繰延税金負債	1	2
固定負債合計	951	956
負債合計	5,394	5,329

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	338	279
自己株式	△1	△2
株主資本合計	2,256	2,197
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	4
評価・換算差額等合計	2	4
純資産合計	2,259	2,202
負債純資産合計	7,654	7,531

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	2,372	2,510
売上原価	2,141	2,348
売上総利益	231	161
販売費及び一般管理費	223	210
営業利益又は営業損失(△)	8	△48
営業外収益		
受取配当金	2	2
為替差益	0	—
未払配当金除斥益	—	0
その他	0	0
営業外収益合計	3	3
営業外費用		
支払利息	4	6
その他	0	0
営業外費用合計	5	6
経常利益又は経常損失(△)	6	△51
特別損失		
固定資産除却損	—	6
特別損失合計	—	6
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	6	△57
法人税、住民税及び事業税	5	1
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	5	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△58

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。